

2024年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語	英語コミュニケーション I a	2	CI 701	東京書籍	All Aboard! English Communication I

目標 【学習指導要領】	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域(以下この節において「五つの領域」という。)別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。 (1)聞くこと ア 日常的话题について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (2)読むこと ア 日常的话题について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (3)話すこと[やり取り] ア 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。 (4)話すこと[発表] ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 (5)書くこと ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	4領域のバランスのとれた英語力の向上を図るため、その土台となる①文法事項の基礎的理解②語彙の修得、さらにその運用能力を高めるため自分自身の日常生活で起きる出来事や思いや考えを英語で伝える意欲を培う指導に努める。
評価の観点	【知識・技能】 各々の章において修得すべき文法・語彙表現や基礎(応用)単語が身に付き、十二分に使いこなすことが可能か。 【思考・判断・表現】 英語特有の表現の仕方を理解し、日本語に捕らわれず思考を柔軟に変えることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題だけの高得点を狙わず、試験でも力を発揮できるように努力しているか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
	4月 (10月)	Warm-Up 1-3 【言語材料】 Pre-Lesson1-2 Be動詞 一般動詞 【言語活動】自己紹介	・英語学習において教室で使う表現や疑問詞 ・自己紹介でBe動詞と一般動詞の違いを知り、否定文・疑問文・応答文が運用できる。	第1回	4月 (10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月 (11月)	Lesson1 (Breakfast around the World) 【言語材料】動詞の過去形 【言語材料】好きな食べ物について述べる。	・世界の朝食を表現する。 ・Be動詞と一般動詞の過去形の使い分けができる。	第2回	5月 (11月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書

